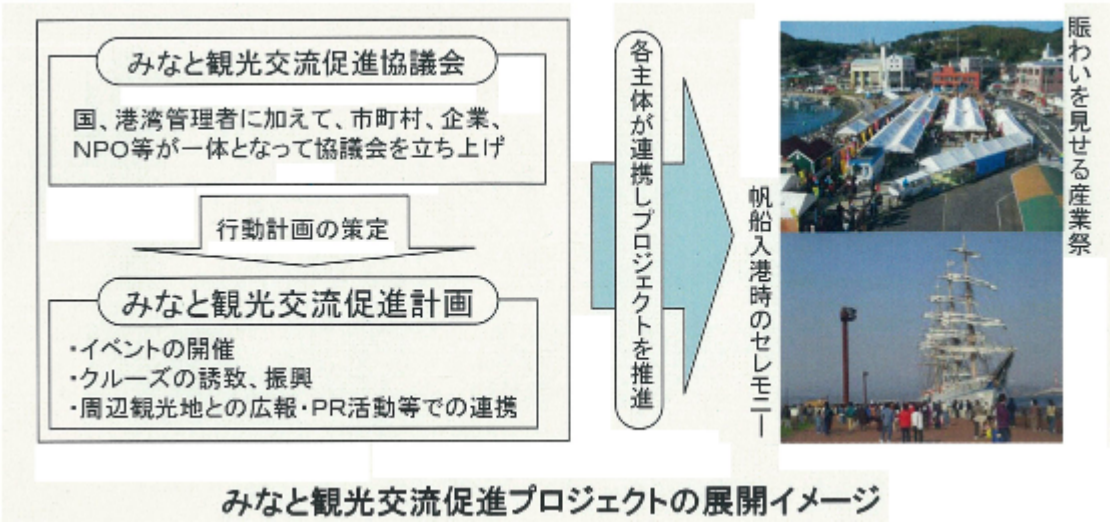
●「みなと観光交流促進プロジェクト」とは？？

国土交通省では、平成１４年度より観光立国実現のための取り組みを行っており、港湾における取り組みの一つとして「みなと観光交流促進プロジェクト」を打ち出し、みなとを活かした観光振興による地域再生に取り組んでいくこととなりました。このプロジェクトは、国土交通省が進めている観光振興施策を積極的に推進するため、**地域と一体となってソフト及びハードの整備を重点的、一体的に実施し、地域の活力向上に貢献しようというものです。**



みなと観光交流促進プロジェクトの展開イメージ

●能代港が「みなと観光交流促進プロジェクト」のモデル港に！！

世界自然遺産の白神山地の山様が見られ、「白神山地が望めるまち」として知られている能代市において、白神山地の特徴である海抜０メートルから1,000メートルまでの急峻な山様が海上から望むことができることから、新たな地域観光の核として活躍が期待される**能代港が、「みなと観光交流促進プロジェクト」に取り組むモデル港として、全国１０港湾のひとつに選ばれました。**現在、市民団体・民間事業者等からなる「能代港みなと観光交流促進協議会」を設立し、みなと観光交流促進に向け取り組みを行っております。



みなと観光交流促進プロジェクト 平成１８年度「モデル港」位置図

●能代港を核とする観光振興に向け、「あきた白神アドベンチャークルーズ」と題し社会実験を行います！！

「あきた白神アドベンチャークルーズ」では、能代港において「みなと観光交流促進プロジェクト」を推進していく計画の一つとして、クルージングや白神山地散策、能代山本の観光などの体験など、能代港や能代周辺観光交流の可能性を探る社会実験を行います。これにより得られた実験結果は、今後の観光交流促進に反映させていきます。